

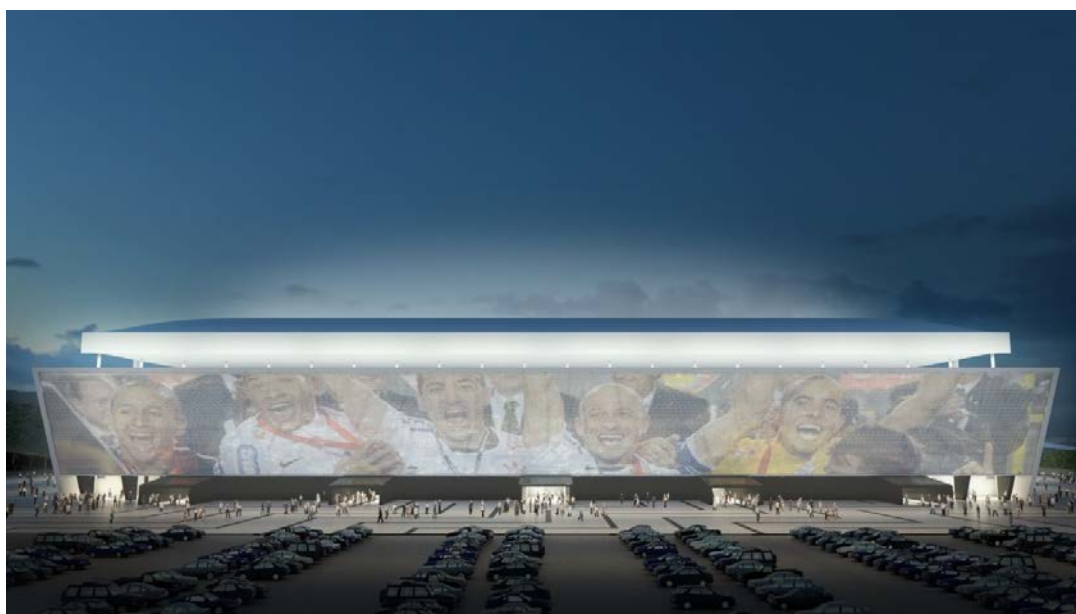
2014年4月24日

AGCの高透過ガラスが「アリーナ・コリンチャンス」に採用 ～ワールドカップ開幕戦の舞台のオフィシャルサプライヤーに選定～

AGC 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村和彦）は、ブラジル・サンパウロのサッカースタジアム「アリーナ・コリンチャンス」のオフィシャルサプライヤーに選定され、同スタジアムに使用された全てのガラスを供給しました。

アリーナ・コリンチャンスは、東西のファサードやVIPラウンジ、手すりにガラスを多用した外観が特長で、その美しさを引き立たせるため、AGCの高透過ガラス「Planibel Clearvision」が使用されています。また、本年6月に開催される2014 FIFAワールドカップブラジル大会では、開幕戦の舞台に決定しています。



アリーナ・コリンチャンスの東ファサード（Credit：Coutinho, Diegues, Cordeiro/DDG）

「Planibel Clearvision」は、通常フロートガラスに比べて含まれる鉄分を減らすことで、ガラス独特の青みのない、透明度が極めて高いガラスです。そのため、ガラス自体の色に影響を受けることなく、ガラス越しに見た物を本来の自然な色で見ることができるという特長があります。

その透明度の高さや優れた品質は、同スタジアムをホームとするスポーツ・クラブ・コリンチャンス・パウリスタのチームカラーのひとつである白色をプリントした際、白色を忠実に表現することができます。さらには供給の信頼性も評価され、今回AGCの「Planibel Clearvision」が選ばれました。

AGCは、昨年ブラジル新工場での商業生産を開始し、2014 FIFAワールドカップブラジル大会では競技者用ベンチ向けガラスルーフを提供します。

AGCは、世界的なサッカーの祭典を盛り上げるとともに、今後もブラジルとともに成長していきます。

◎本件に関するお問い合わせ先： **AGC** 旭硝子(株) 広報・IR 室長 小林 純一
(担当：小田原 TEL：03-3218-5603、E-mail：info-pr@agc.com)

■AGCグループについて

旭硝子株式会社（AGC）を中心とするAGCグループは、建築・自動車・ディスプレイ用ガラス、化学品、その他の高機能材料を世界のお客様に提供するソリューション・プロバイダーです。100年以上に渡る技術革新の歴史の中で、当社グループはガラス、フッ素化学、セラミックスなどの分野で世界トップクラスのコア技術を培ってきました。現在、グループ全体の年間売上は約1.3兆円、従業員数約5万人であり、およそ30の国や地域でグローバルに事業を展開しています。

AGCグループに関する情報は、当社WEBサイト www.agc.com/ をご覧下さい。

■アリーナ・コリンチャンスについて

座席数48,234席のアリーナ・コリンチャンスは、Odebrecht社によって建設され、ガラスを多用した外観が特徴のスタジアムです。2014 FIFAワールドカップブラジル大会では開幕戦を含む6試合が開催される予定です。東ファサードは、LEDを用いた幅170m、高さ20mの世界最大のビデオスクリーンになっています。東西のファサードやVIPラウンジ、手すりなども含めて、計72,000㎡、1,500トンのガラスが使用されています。

(参考)

部位	特徴
ファサード	西ファサード（6,900㎡）は、ゴールネットにボールが当たった瞬間をイメージした湾曲が特長です。強化ガラスや合わせガラス、シルクスクリーン印刷や二重に曲げられたガラスなど1,080もの様々な種類のガラスによって構成されています。 東ファサードは、3,400㎡の世界最大のビデオスクリーンです。1,300枚の1.2mのガラス板で覆われています。
VIPラウンジ	6-12mmの厚みのPlanibel Clearvisionが約17,000㎡使用されています。全てのガラスは強化された合わせガラスで、その透明性とシルクスクリーン印刷による最適な遮光性が、観客の快適性を向上します。
手すり	約22,000㎡のPlanibel Clearvisionが使用されています。